

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 20日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒290-8555

住 所 千葉県市原市八幡海岸通6番地

氏 名 古河電気工業株式会社千葉事業所

所長 宮崎 秀彦

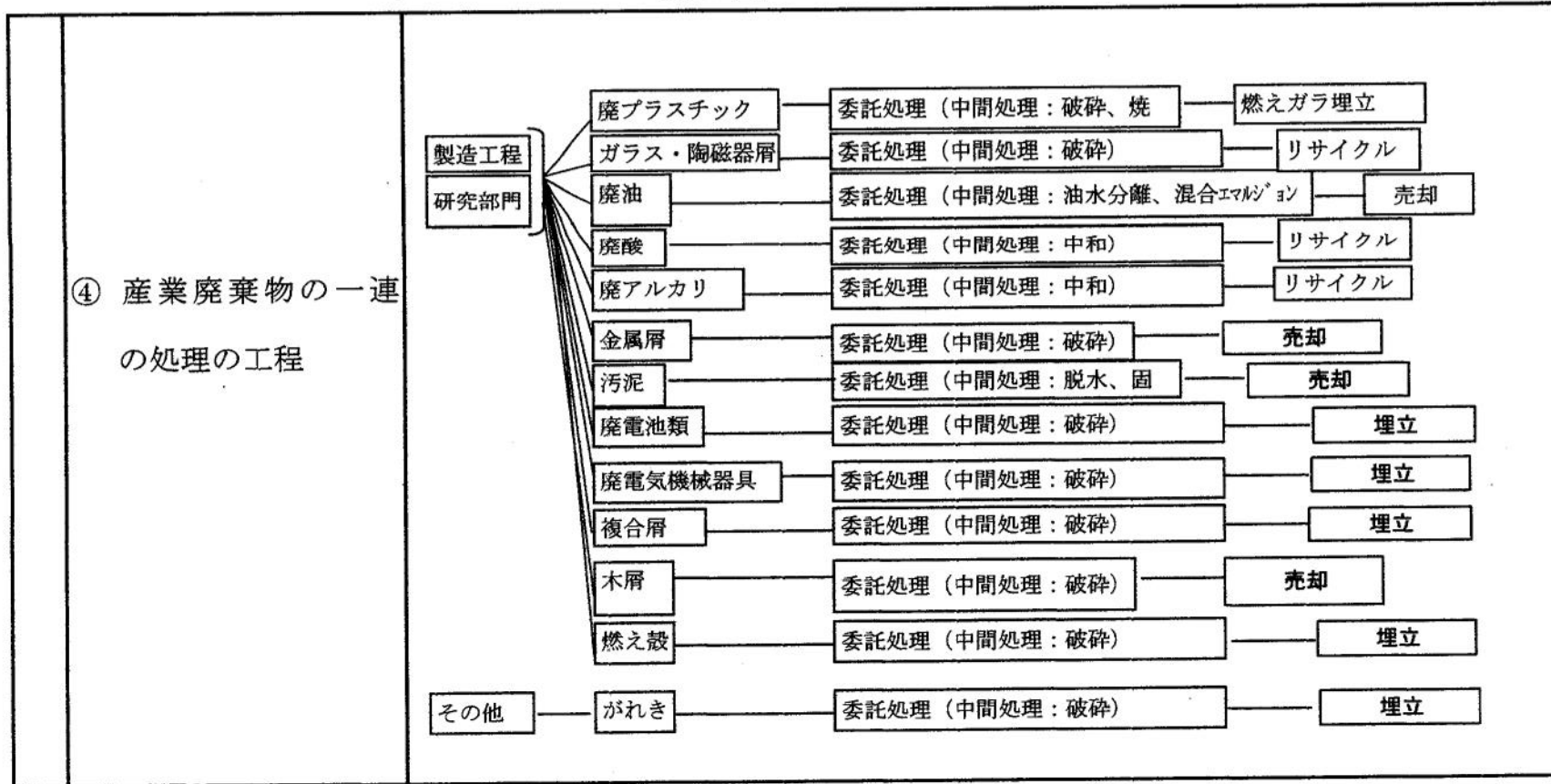
電話番号 0436-42-1601

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	古河電気工業株式会社 千葉事業所
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通6番地
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：非鉄金属製造業
② 事業の規模	前年度の製品売上額 383億円
③ 従業員数	865人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

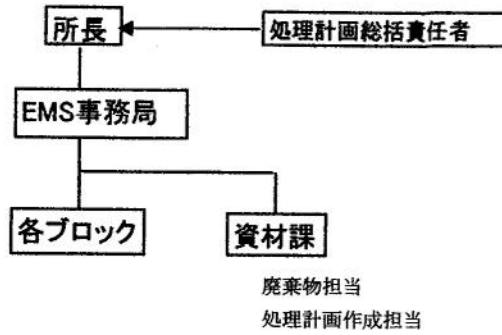
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	別紙の通り
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	別紙の通り
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
①現状	【前年度（令和4年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
	排出量	770.45t	5.53t	88.55t	0.00t	489.08t	0.307t	240.02t	0.00t	0.850t	12.71t	44.16t	0.000t	0.00t	0.20t
	(これまでに実施した取組)														
	分別活動及び製造条件の最適化に取り組み削減を目指した。														
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
	排出量	747.33t	5.53t	86.78t	0.00t	474.40t	0.307t	235.22t	0.00t	0.850t	12.71t	44.16t	0.000t	0.00t	0.20t
	(今後実施する予定の取組)														
	分別活動及び製造条件の最適化を図り、廃棄物の排出抑制を行う。														
産業廃棄物の分別に関する事項															
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、金属屑：再生利用をしやすいように分別を行っている。														
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、金属屑：再生利用をしやすいように分別を行う。														

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙の通り
(これまでに実施した取組) 別紙の通り		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙の通り
(今後実施する予定の取組) 別紙の通り		

(第3面)別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) 特になし															
【目標】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) 特になし															

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) 近年、自ら中間処理を行ったことはない															
【目標】		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理を行う予定はない															

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	別紙の通り
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り	

(第4面)別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和4年度）実績】													
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	腐電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(これまでに実施した取組) 近年、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。														
		【目標】													
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	腐電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	(今後実施する予定の取組) 埋立処分又は海洋投入処分の予定はない。														

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和4年度）実績】														
産業廃棄物の種類		廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄	腐電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻	
①現状	全処理委託量	770.45t	5.53t	88.55t	0.00t	489.08t	0.307t	240.02t	0.00t	0.850t	12.71t	44.16t	0.000t	0.00t	0.20t	
	優良認定処理業者への処理委託量	148.19t	0.00t	88.36t	0.00t	437.13t	0.017t	219.66t	0.00t	0.000t	0.00t	44.16t	0.000t	0.00t	0.00t	
	再生利用業者への処理委託量	630.61t	5.53t	86.34t	0.00t	489.02t	0.307t	218.73t	0.00t	0.850t	12.71t	44.16t	0.000t	0.00t	0.20t	
	認定熱回収業者への処理委託量															
	認定熱回収業者以外の処理委託量	139.84t	0.00t	2.20t	0.00t	0.05t	0.000t	21.29t	0.00t	0.000t	0.00t	0.00t	0.000t	0.00t	0.00t	
(これまでに実施した取組) 処理委託業者を訪問して、廃掃法に従い処理がされているか現地確認を行った。																

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り	
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り		
※事務処理欄			

(第5面)別紙

【目標】															
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器屑	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属屑	汚泥	安定型混合廃棄物	廃電気機械器具	複合材	木屑	廃水銀(水銀使用製品)	がれき	燃え殻	
全処理委託量	747.33t	5.53t	86.78t	0.00t	474.40t	0.307t	235.22t	0.00t	0.850t	12.71t	44.16t	0.000t	0.00t	0.20t	
優良認定処理業者への 処理委託量	141.99t	0.00t	86.78t	0.00t	431.71t	0.000t	216.40t	0.00t	0.000t	0.00t	44.16t	0.000t	0.00t	0.00t	
再生利用業者への 処理委託量	620.29t	5.53t	82.44t	0.00t	474.40t	0.307t	216.40t	0.00t	0.850t	12.71t	44.16t	0.000t	0.00t	0.20t	
認定熱回収業者への 処理委託量															
認定熱回収業者以外 の熱回収業者への 処理委託量	127.05t	0.00t	4.34t	0.00t	0.00t	0.000t	18.82t	0.00t	0.000t	0.00t	0.00t	0.000t	0.00t	0.00t	
(今後実施する予定の取組)															
処理委託業者を訪問して、廃掃法に従い処理がされているか確認を行う。															
※事務処理欄															

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。